## 猫のしつけ

### 猫の行動特性からみたしつけ

　単独者であるため、他のねこに強さをアピールしたり、服従する行動はありません。
家庭の中での飼い主との関係は、母子関係または兄弟姉妹関係のどちらかです。それはねこの行動から分かります。

◆　母子関係：　飼い主に始終体をこすりつける、膝に上がれば飼い主の懐に潜り込む、顔を腕の中にうずめる。

◆　兄弟姉妹関係：　直接的な体の接触は少なくても、飼い主を避けるわけではなく、横でじっとしている。

　いずれにせよ飼い主との関係は、本当の母子や兄弟姉妹関係ではないことは彼らは非常によく分かっています。　そのような素振りをすることでうまく人間社会と共存して集団生活を行っているのです。極度の緊張状態では、ねこは飼い主を頼りとしません。狭くて安全なところに隠れます。そのようなときに手助けをするとかえってねこから攻撃を受けることもあります。犬のように飼い主をずっと覚えていることは少なく、環境が変われば別の人と新しい母子関係をきずくことも比較的容易です。

### しつけの方法

　ねこをしつけることは非常に困難です。（絶対的な順位がない、服従性がないため）　ある状況で飼い主が優位に立って叱りつけてもその、その場限りでまた同じことを繰り返します。　十分に成長していない子ねこの段階であれば、盲目的に母に従うので比較的しつけがうまくいきます。
　ねこにとって重要なのは安全かどうかであり自分自身の身に危険を感じない限りやりたいことをします。
　飼い主が口うるさくしつけようとしても、ねこにとってはその行動が悪いとは理解せず、飼い主が自分を嫌っていると理解します。結果として飼い主との関係を解消させてしまうことになりかねません。初めからねこはしつけられないものと認識しておきましょう。

〈有効策〉　ねこの近くに触られて困るものは置かない。ねこの生活する部屋を決める。（他の部屋に行かせない。）

試用

◆ 都会生活では、事故防止、隣人への配慮、繁殖の増加を防ぐために、屋内で飼うことも進められます。

〈屋内で飼う場合〉 触ってはいけないもの、入っては行けない部屋に近よらせないようにするにはどうすればよいでしょう？ ねこがものや場所が危険だと感じることです。例えば、ねずみ取りを上下逆にして使う（ねこ自身は傷つかず、大きな音がしてねこはびっくりする）粘着テープを敷く。